

令和7年3月5日

千葉県や茨城県に分布する犬と猫のかかわる安産祈願とザクマタ

【研究の概要】

千葉県や茨城県には犬や猫をザクマタというY字の塔婆で供養し、安産を祈願する犬供養・猫供養が分布しています。本論文ではこの犬供養と猫供養の分布が南北に分かれる茨城県常陸大宮市を事例に、医療の高度化や社会の変化によって衰退傾向にある安産祈願の講において、信仰民具のザクマタが木製から石製になった事例と調査地の氏神の小社がワラハウデンから石祠へ変化した事例とを比較し、両者の影響の可能性と大部分のザクマタが石製に変化しなかった点から、今後の課題として木製であることで付与される製作過程への着目の必要性を指摘しました。

本論は、民俗行事を継承し記憶化する講関係者の意思をザクマタやワラハウデンの石材化を事例に、今後の研究の方向性として信仰民具の材質に着目し、制作者や伝承者の意図を考究する可能性を示したことが評価され、第38回日本民具学会研究奨励賞を受賞しました。

【発表者名】

渡瀬綾乃（千葉県立中央博物館 研究員）

【本文の解説】

〈研究背景〉

母子ともに健康に出産するための安産祈願のなかで、とくに犬は「お産が軽い」とされ茨城県や千葉県では安産祈願と深くかかわる動物であった。この地域の犬の関わる安産祈願にはY字の塔婆「ザクマタ」を集落の境や川沿いにたてる習俗がある。本研究では、医療の発展により減少傾向にある犬供養を伴う安産祈願の習俗について、茨城県常陸大宮市を事例に、安産祈願や女人講、ザクマタの変容について報告した。



写真1 奉納されているザクマタ

〈常陸大宮市の動物供養と女人講〉

茨城県常陸大宮市では、女人講の安産祈願において供養される動物が犬と猫であり、その事例は図1のような分布をしている。同市では犬は安産、猫は難産という理由で供養が行われており、さらに供養対象が南北に分布が分かれる傾向にある。

また、同市では安産祈願の女人講は子安講、三夜講、観音講と呼ばれ、神仏の信仰と結びついている。しかし病院での出産が増えると回数や参加人数が減り、参加者が高齢化したことで解散や合同祭祀といった変化が起きている。

〈石になったザクマタとワラハウデン〉

ザクマタは安産祈願の際に、二股の木を用いて作成する塔婆だが、常陸大宮市の H 集落では黒い御影石に線刻されたザクマタの石碑が地蔵尊の堂宇に安置されていた。信仰物が祭祀のたびに更新されるものから石造に変わったものとして、同市では氏神の社がある。氏神の社はかつてワラハウデンという藁の社だったが、地元石材業者の勧めや石祠へ変更した周囲の氏神の社に影響され、現在は石祠が多くなっている。H 集落のザクマタも同じような考えから石材で作られたのではないかと考えられる。



図1 犬供養猫供養の分布図（筆者調査ならびに『美和村史』より作成。地名は旧町村名）

〈考察〉

ワラハウデンから石祠へ変化した氏神の社という信仰物の形態の変化が、二股の木を材料とするザクマタにも影響を与えた可能性がある一方で、調査地域に残存するザクマタのほとんどは木であった。ザクマタを奉納する安産祈願において、供えるという行為だけでなく、その都度書かれる文字、選定される木の種類の制作過程にも安産祈願としての意味があったからと考えられる。

〈用語解説〉

ザクマタ：東日本で動物供養に用いられる二股の木の塔婆。ザカマタ、犬塔婆ともいう。

ワラハウデン：藁で作られる社。

【発表雑誌】

雑誌名：『民具マンスリー』第56巻10号

論文タイトル：「石になったザクマタ—茨城県常陸大宮市の安産祈願と動物供養を事例に一」

著者：渡瀬綾乃

【関連する事業・研究課題】

日本学術振興会 科学研究費助成事業 研究活動スタート支援

研究課題名「千葉県と茨城県における安産祈願と動物供養の民俗学的研究：犬供養・猫供養に着目して」（課題番号：22K20084）

お問合せ先

千葉県立中央博物館 研究員 渡瀬綾乃

〒260-8682 千葉県千葉市中央区青葉町 955-2

TEL：043-265-3111